

第7分科会

コロナ禍における保育士養成

—学外実習の学びの意義の再考—

分科会概要：

本分科会では、コロナ禍における保育士養成の学外実習がどのように行われており、また、今後どのように取り組んでいくべきか、その学びの意義を再考する。

新型コロナウイルス感染拡大によって保育士養成における学外実習を通常通りに実施することが困難となるケースがあるため、①保育士養成における学外実習の位置づけと②学外実習の取り組みの実際について話題提供することで、保育士養成における学外実習の学びの意義を再考するための意見交換を行い、理解を深めたい。

<プログラム>

- 14：00～14：10 趣旨説明
大谷大学 教育学部 教授 安田 誠人 氏
- 14：10～14：40 講演 1. 「コロナ禍の学外実習について」
関西福祉科学大学 教育学部 教授 新川 泰弘 氏
- 14：40～15：10 講演 2. 「学内演習の取り組みについて」
びわこ学院大学 教育福祉学部 専任講師 榎本 祐子 氏
- 15：10～15：20 休憩
- 15：20～15：50 講演 3. 「学内演習の取り組みについて」
大阪千代田短期大学 幼児教育科 准教授 本田 和隆 氏
- 15：50～16：20 講演 4. 「コロナ禍の学外実習について」
桜美林大学 健康福祉学群 助教 大村 海太 氏
- 16：20～16：30 休憩
- 16：30～16：55 意見交換
- 16：55～17：00 まとめ

※なお、時間は目安であり、若干変更になる場合があります。